14. 調子がおかしいときは

14-1 サービスを依頼される前に

<iTM本体について>

■iTMの画面表示が消えた。

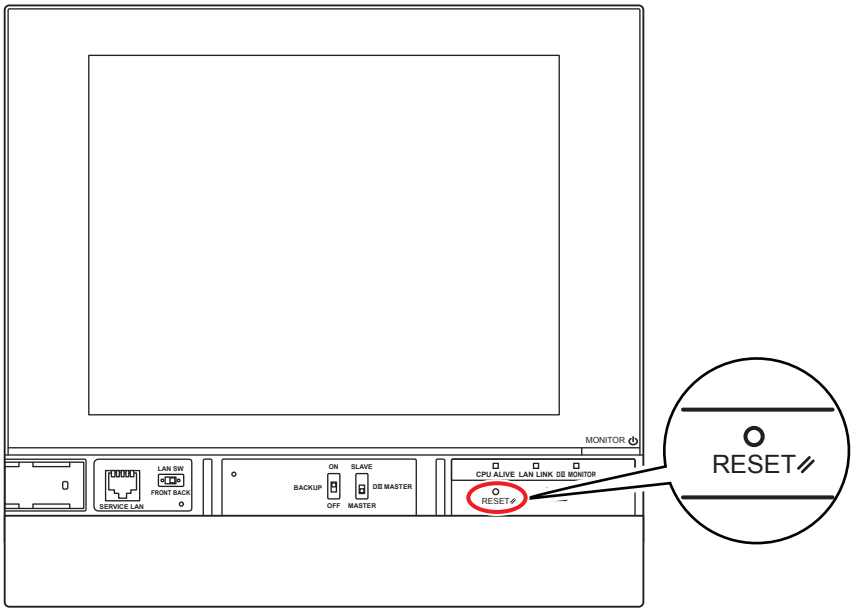
- 本体のMONITORボタンのLEDを確認してください。
  橙に点灯していればモニターOFFになっています。MONITORボタンを押してモニターONにしてください。LEDが緑の点灯になります。
- iTMのスクリーンセーバー設定で、バックライト自動OFFの設定をしているとき、一定時間画面に触れないと自動で画面を消灯します。
  指で画面に触れてください。再度画面が表示されます。

■バックライトOFF設定をしているのにバックライトが消えない。

- バックライトOFFは標準画面表示中に、一定時間画面に触れない場合自動でOFFにする機能です。
  画面表示が「操作/詳細」「システム設定」などの場合は自動OFFしません。

■iTMが操作・モニター不能になってしまった。

- 前面スライドカバーをずらして、iTM右下のリセットボタンを押してください。
  このスイッチを押すことにより、iTMは再起動します。
  - このスイッチを押しても、エリア・管理点・スケジュールなどの設定内容は消えません。
  - 按分機能を使用している場合、iTMの再起動中はパルス入力を受け付けることができません。また、デマンド機能を使用している場合、iTMの再起動後、しゃ断レベル8のデマンド制御がかかります。



■iTMへの電源をしゃ断する。

- iTMへの電源のON・OFFは、手元開閉器のON・OFFで行います。
  iTM本体に電源供給をON・OFFするスイッチは付いておりません。

⚠ 注意

- 無理な力で、スイッチを押したりしないでください。部品の破損・故障の原因になります。
- iTMは静電気に敏感な部品を使用しています。部品が静電破壊するおそれがありますので、操作前に体にたまった静電気を除去してください。静電気はアースされた金属部（制御盤など）に触れることにより除去できます。

<iTMの操作について>

■標準画面の操作で操作用のボタンではない部分をタッチして操作音が鳴る。

- iTMは画面のどこをタッチしても操作音が鳴るように設計しています。故障ではありません。

■画面を見ていると定期的に画面がちらついている。

- iTMは標準画面を表示させていると、空調機の現在の状態を表示させるために画面を３秒ごとに更新しています。更新のときに、画面がちらついて見えることがありますが、故障ではありません。

■iTMの画面に触れて操作を行っても表示画面がなかなか更新されない。

- 接続している空調機との通信状態によっては、表示の更新に時間がかかる場合がありますが、数秒お待ちいただければ更新されます。

■液晶表示画面について。

- 液晶表示画面はとても精密度の高い技術で作られており、画面の一部に点灯しない画素抜けや常時点灯しているものがあります。また、液晶表示画面はその性質上、温度変化などで多少むらが発生することがあります。これは液晶パネル特有の現象であり、故障ではありませんのでご了承願います。

■標準画面で、エリアにフィルターサインが表示されていた。

- 空調機のフィルターを洗浄し、洗浄サインを手元リモコンでリセットしたにもかかわらず標準画面のフィルターサインが消えない。
  標準画面においてエリアアイコンに表示されるフィルターサインは、エリア内の空調機すべてのフィルターがリセットされてはじめて消えるようになっています。
  同一エリア内に、洗浄した空調機以外にも洗浄サインを表示している空調機がないかご確認ください。

■標準画面で、操作ボタンがタッチできない。

• 選択している管理点が「手動操作禁止」に設定されていませんか？
下図のようにリスト画面表示したときに「手動操作禁止」と表示されていれば「手動操作禁止」に設定されています。

■リモコン許可/禁止設定が表示されない。

システム設定画面エリア／管理点一覧で設定温度制限が表示されない。

• 上位集中機器（マスターステーションⅢなど）を接続している場合は、リモコン許可/禁止設定、設定温度制限設定を行うことができません。または、iTMが２台接続されている場合、従設定側のiTMは、リモコン許可/禁止設定、設定温度制限設定を行うことができません。

■iTMで手元リモコン操作禁止にしている状況で、iTMが故障し、空調機の運転・停止などの設定がまったくできない。

• 応急的対策として、iTMの電源をしゃ断してください。そうすることにより、約５分程度で空調機の手元リモコンからすべて操作可能になります。
iTM以外にも集中制御機器がある場合は、いったんすべての集中制御機器の電源をしゃ断してください。

■室内機などが通信異常で表示されている。

• iTMを再起動した場合など、本体起動直後は室内機の状態が表示されない（通信異常）ことがあります。
約10分間程度すると通常状態になりますのでしばらくお待ちください。

■スケジュールが動作する日時になっても機器が設定どおりに動作しない。

- 集中監視画面で対象機器のアイコンが点検中になっていないか確認します。
  点検中の場合は、機器への指示をしません。
  点検終了後にシステム設定タブの点検中設定ボタンから点検中を解除します。
- 集中監視画面で対象機器のアイコンが緊急停止になっていないか確認します。
  緊急停止中の場合は、機器への指示をしません。
  緊急停止の解除方法は、8-3 緊急停止の設定をご覧ください。
- 運用管理タブの履歴ボタンをタッチして、スケジュールが動作する日時のあとに「コントローラ（名称）、起動（内容）」が履歴表示されていないか確認します。
  iTM起動前に停電があった可能性があります。
  停電の場合は、機器への指示をしません。

■USBメモリへのファイル書き込みが失敗してしまう。

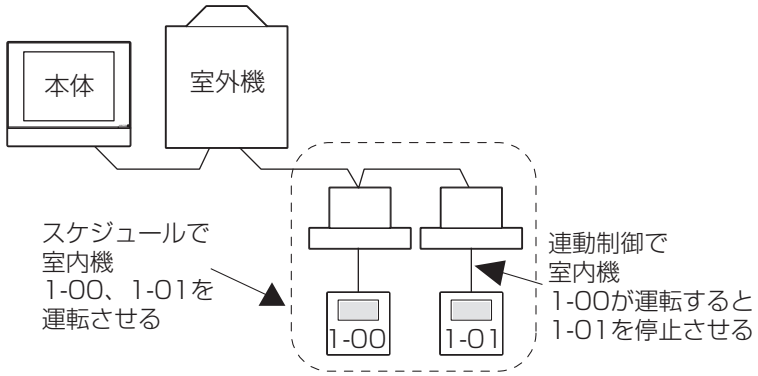
iTMにはバックアップ機能や設定一括出力機能など、接続したUSBメモリにファイルを保存する機能が備わっています。
USBメモリへのファイル書き込みが失敗してしまう場合は、以下のような状態になっていないかご確認ください。

- 保存しようとしているUSBメモリの空き容量が十分ではない。
  USBメモリの空き容量を確認してください。
- 保存しようとしているUSBメモリが書き込み禁止になっている。
  書き込み禁止状態を解除して使用してください。
  解除方法については使用しているUSBメモリの取扱説明書などで確認してください。
- 保存しようとしているUSBメモリにすでに同名のファイルが存在している場合、
  下記のいずれかを実施してください。
  すでにUSBメモリに保存されているファイルをパソコンへ移動する。
  すでにUSBメモリに保存されているファイルのファイル名を変更する。
  すでにUSBメモリに保存されているファイルを削除する。
  （削除しても良いファイルかよく確認してください）
- USBメモリがiTMに接続されていない。
  USBメモリをiTMに接続し、再度ファイル出力を実行してください。
- USBメモリへファイル出力中にUSBメモリを抜いてしまった。
  ファイル出力処理中にUSBメモリを抜かないでください。
  USBメモリをiTMに接続し、再度ファイル出力を実行してください。

<空調機の動作について>

■空調機が運転しない。

- 連動制御で空調機が停止している場合があります。連動制御の確認を行ってください。
  以下のような場合、空調機1-01 は運転されません。
  （1-00・1-01ともに運転されるが、その後1-01が連動制御により停止する。）
  1-00 1-01スケジュールで室内機1-00、1-01を運転させる
  連動制御で室内機1-00が運転すると1-01を停止させる



上記の場合、1-01をスケジュール設定で運転させたにもかかわらず、連動制御で停止してしまう。⇒運転していないように見える。
スケジュール設定・連動制御設定を行う場合は、ほかのスケジュールプログラム・連動制御プログラムを考慮したうえで検討してください。

■iTMで室内機などを運転すると、別の機器が停止する。(想定外の動きをする)

- 連動制御の設定内容を確認してください。
  室内機を運転時に別の機器を停止する連動制御が設定されている可能性があります。
  下記の方法で設定内容をご確認ください。

  1. 設定一括出力機能を使用して連動制御機能での設定内容を確認する。
     設定一括出力機能については7-3 各機能の設定データ出力をご覧ください。

  2. 履歴にて該当機器の制御状態を確認する。
     履歴機能については7-1履歴の確認と出力をご覧ください。

■リモコンで室内機が運転できなくなった。

- リモコン操作禁止の設定がされていませんか？

  リモコン操作禁止の設定状態により室内機は運転/停止、運転モード、設定温度の変更などが行えなくなる場合があります。

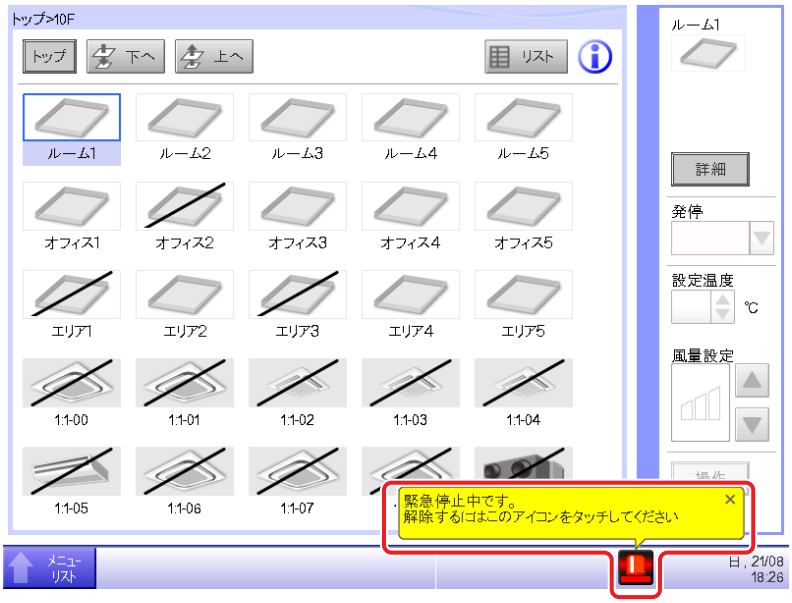
  リモコン操作禁止の設定状態は標準画面(一覧)や詳細設定画面のリモコン許可/禁止設定タブで確認ができます。（2-3 手元リモコン操作の許可、禁止の設定参照）

■標準画面で、エリアまたは室内機の運転操作ができなくなった。

- 下図のように標準画面に「緊急停止中」のアイコンが表示されていませんか？

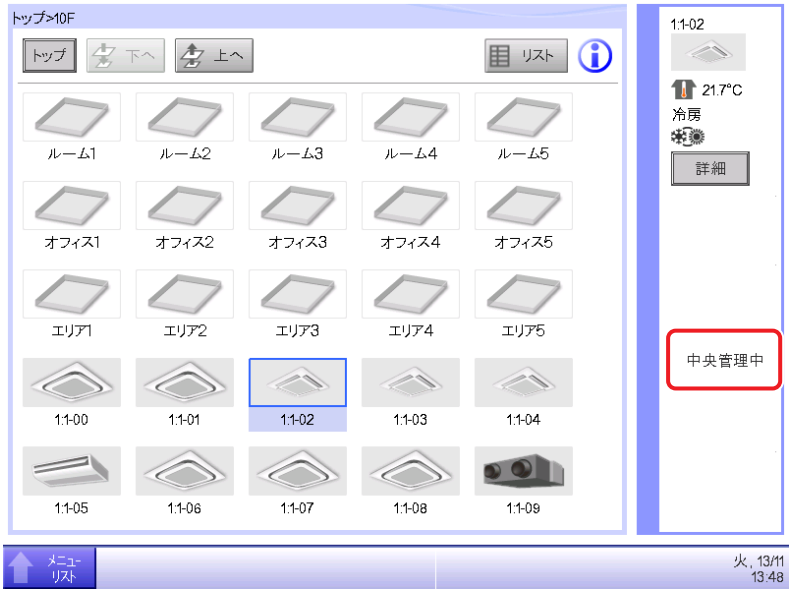
  緊急停止指令を入力されると、デフォルト設定の場合はiTMに接続されているすべての空調機が停止します。また、緊急停止指令を入力されている間は集中制御機器・手元リモコンいずれからも空調機を運転することはできません。

  緊急停止入力指令が解除されると「緊急停止中」のアイコン表示が消えて、iTMからの操作が可能になります。



■標準画面で運転・停止などの空調機操作ができなくなった。

- 下図のように監視画面に「中央管理中」が表示されていませんか？
  「中央管理中」は上位集中機器（マスターステーションⅢなど）から下位集中操作禁止を受け、上位集中を優先している場合、iTMは監視のみとなります。



<DESICAの動作について>

■DESICAが停止せず標準画面のリスト表示で「換気運転中」と表示される

- 運転停止後に外機循環運転を行っているためです。
  約20～100分間 換気運転中になります。
- 運転停止後に機内乾燥運転を行っているためです。
  約60分間 換気運転中になります。
- ナイトパージ運転・24時間換気運転を「入」に設定しているためです。

■調湿モードを「換気」・「除湿」・「加湿」に切り換えても、自動で「調湿」運転になる

- 外気温度が35℃以上の時に、「加湿」・「換気」に設定したためです。
- 外気温度が5℃以下のときに、「除湿」・「換気」に設定したためです。
  本体および室内吹出口に露がつく事を防止しています。

■iTMに表示されるDESICAの温度・湿度は、DESICA本体に内蔵された温湿度センサーの値をもとにしているため、実際の温度・湿度と異なる場合があります。
十分ご理解のうえご使用ください。

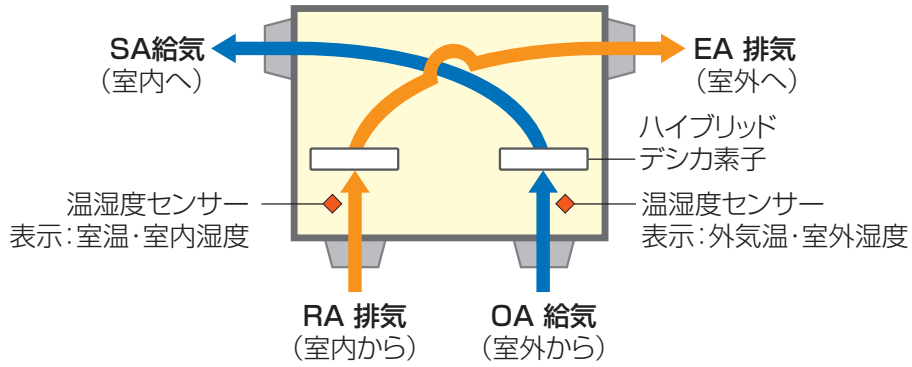
室内湿度・室温

DESICAの室内吸込（RA）側の温度・湿度です。
検知湿度・温度は、設置環境の影響を受けることがあります。

室外湿度・外気温

DESICAの室外吸込（OA）側の温度・湿度です。
検知湿度・温度は、設置環境（直射日光など）、運転状況の影響を受けることがあります。

・イメージ図



イメージ図のためセンサーの位置などは実際とは異なります。

■DESICAと室内機をリモコングループしている場合、リモコンからは「換気」運転が可能ですが、iTMから「換気」運転を行うことはできません。
また、リモコンで「換気」運転にした場合、iTMではDESICAとリモコングループされた室内機管理点の運転状態は、「送風」になります。
運転状態は「送風」となりますが、iTMから「送風」運転を指示することで、室内機を「送風」運転に変更することは可能です。

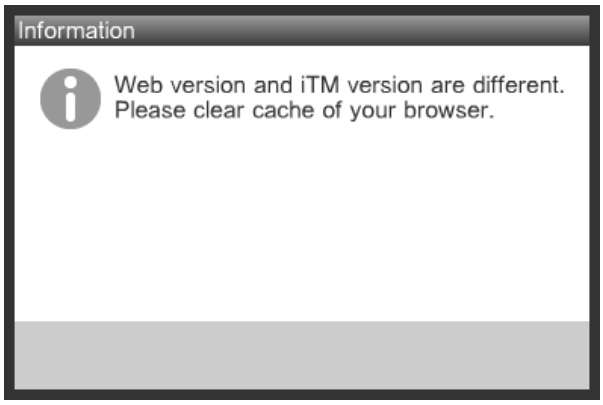
連動制御をご使用時にリモコンで「換気」運転にした場合、iTMは「送風」運転と認識し、
入力条件を室内機の「送風」運転に設定された連動プログラムが実行されることになりますので、
十分ご理解のうえご使用ください。

<Webアクセス機能について>

■Webアクセス機能を使用したが、画面が正しく表示されなかった。

- ネットワーク設定が正しく行われていますか？
  Webアクセス機能を使用する場合はネットワーク設定が正しく行われている必要があります。
  ネットワーク設定については9-1ネットワーク設定をご覧ください。
- 使用しているブラウザにキャッシュが残っていると正しく表示されない場合があります。

  パソコンでiTMにアクセス時、ブラウザにキャッシュが残っている場合は、
  以下のようなメッセージが表示されます。

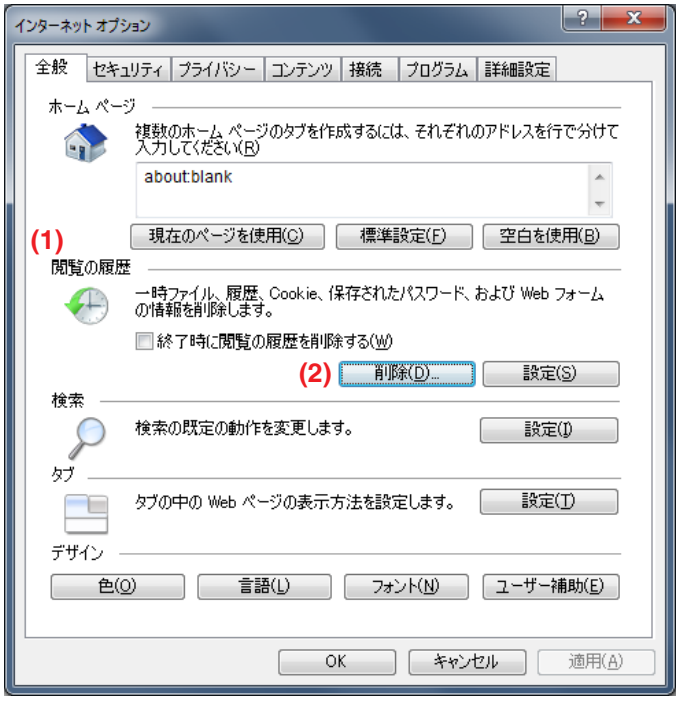


下記の手順でブラウザのキャッシュを削除してください。

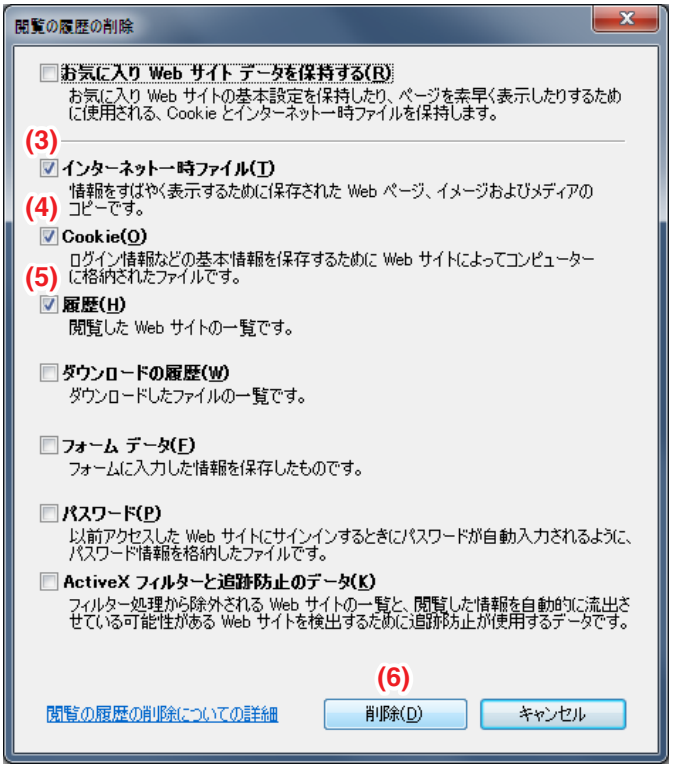
<Internet Explorerの場合>

1. メニューバーの[**ツール**]-[**インターネットオプション**]を選択する。

2. **全般**タブにある **(1) 閲覧の履歴**の **(2) 削除**ボタンをクリックする。



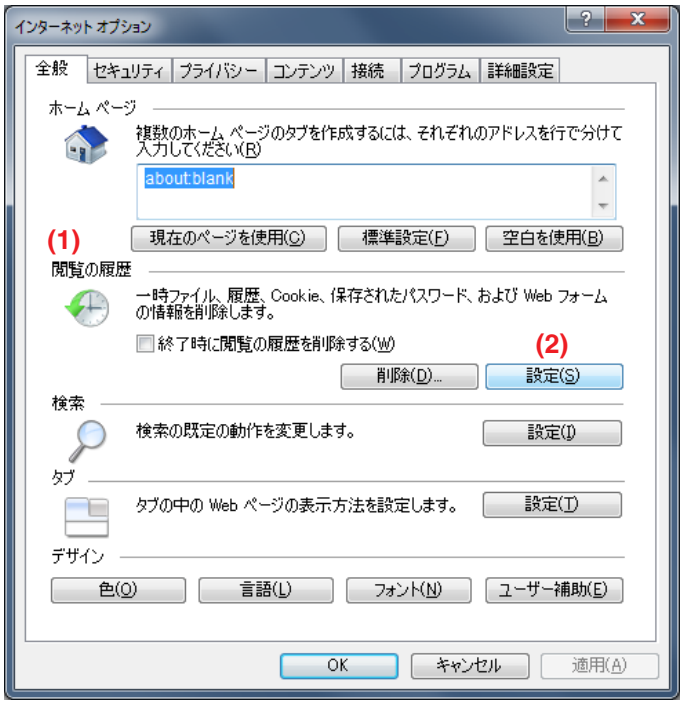
3. **(3) インターネット一時ファイル**・**(4)** Cookies・**(5) 履歴**を選択して **(6) 削除**ボタンをクリックする。



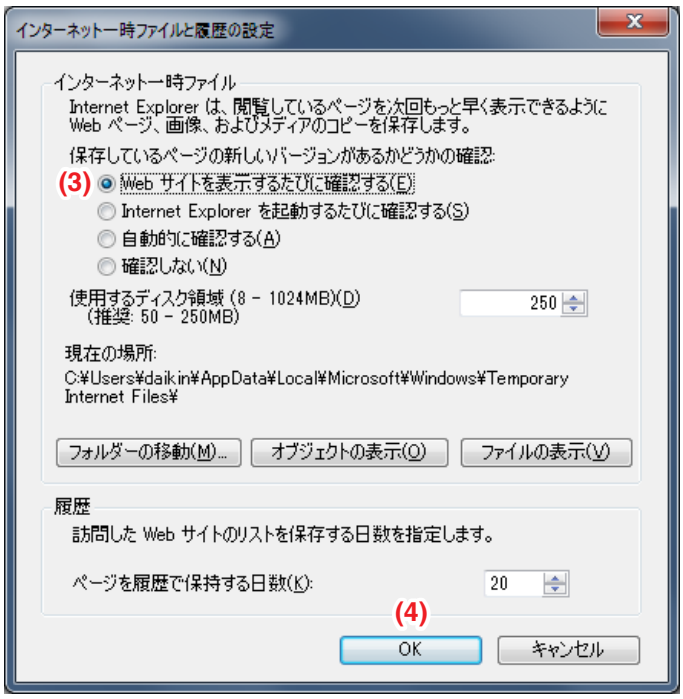
<Internet Explorerでキャッシュ削除を行ったが正しく表示されなかった場合>

1. メニューバーの[**ツール**]-[**インターネットオプション**]を選択する。

2. **全般**タブにある **(1) 閲覧の履歴**の **(2) 設定**ボタンをクリックする。

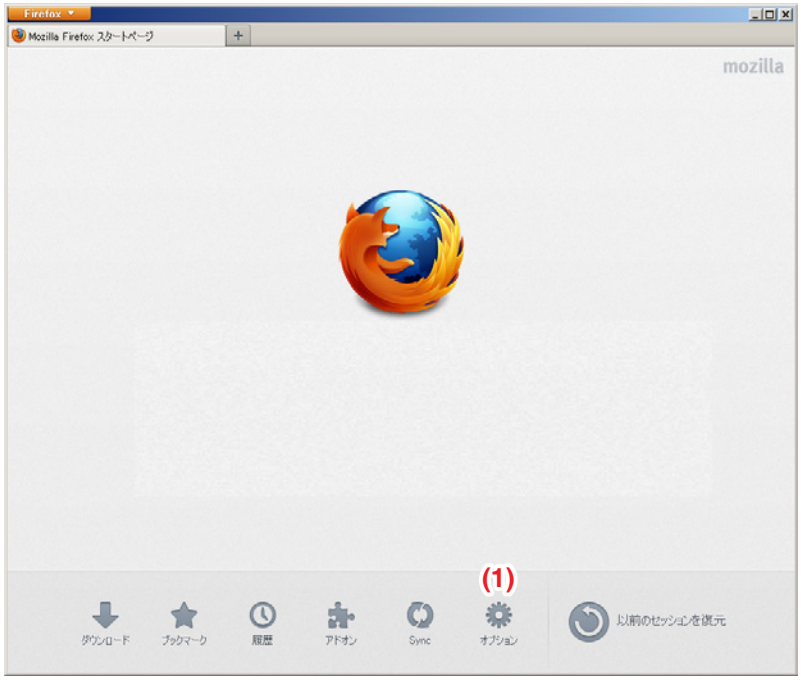


3. 保存しているページの新しいバージョンがあるかどうかの確認ラジオボタンのうち
(3) Webサイトを表示するたびに確認するを選択して、**(4) OK**ボタンをクリックする。

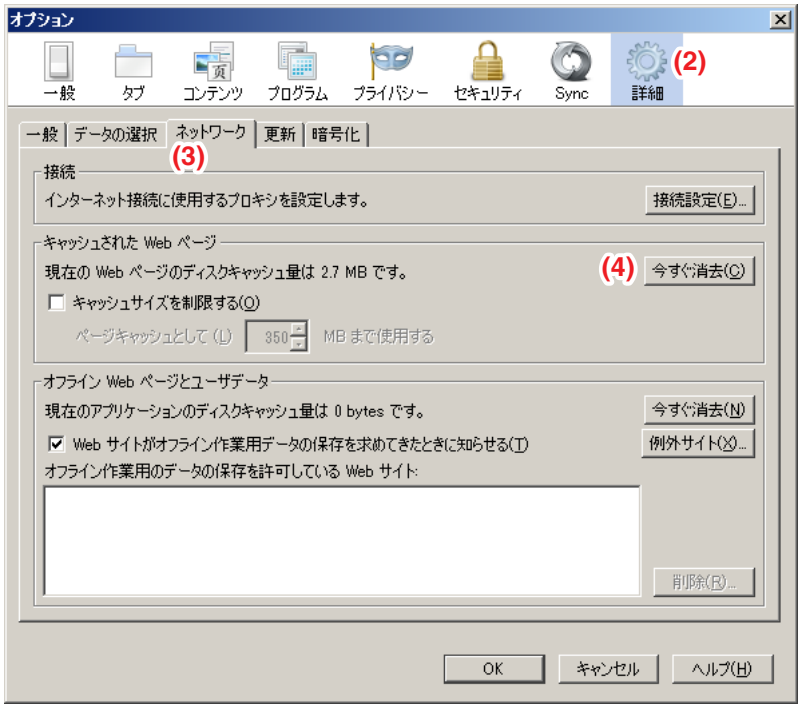


<Firefoxの場合>

1. **(1)** オプションをクリックする。

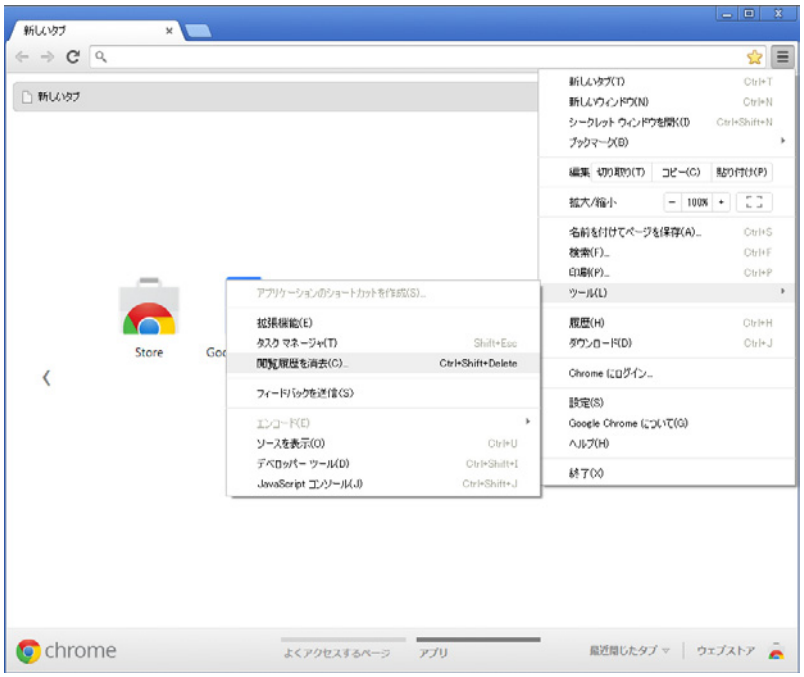


2. **(2)** **[詳細]**- **(3)** **[ネットワーク]**で **(4)** **今すぐ消去**ボタンをクリックする。

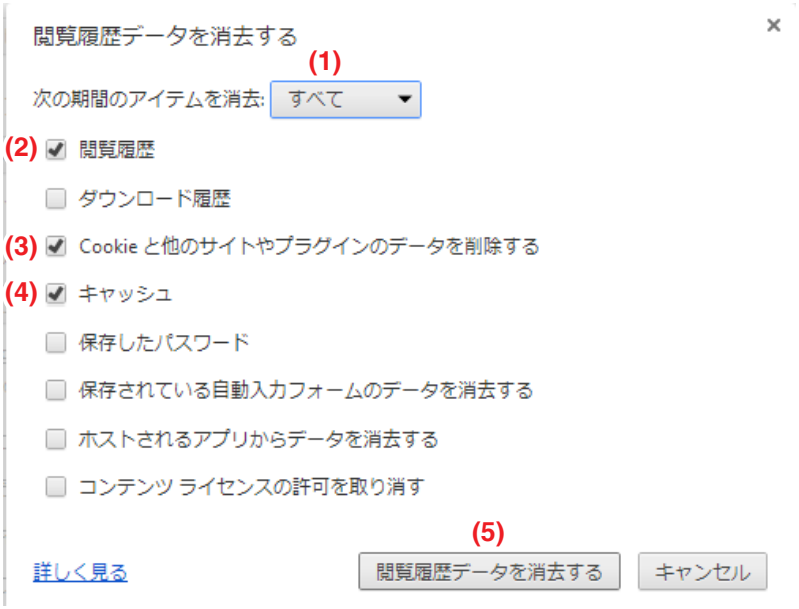


<Google chromeの場合>

1. Google chromeの設定ツールより[ツール]-[閲覧履歴を消去]を選択する。



2. **次の期間のアイテムを消去**にて **(1) すべて**を選択し、**(2) 閲覧履歴**、
(3) Cookieと他のサイトやプラグインのデータを削除する、**(4) キャッシュ**を選択して
(5) 閲覧履歴データを削除するボタンをクリックする。



<按分機能について>

■「按分」アイコンが表示されない

按分機能が設定されていません。お買上げの販売店にお問合せください。

■停止時の電力量について

按分結果表示中の「停止時の電力量」とは、空調機が停止中に消費するクランクケースヒーターの電力を按分しないように設定している場合、その電力量をどの空調機にも割り振れないため、その合計値を表示するものです。

その分の電力量は、共益費などとして別途取扱う必要があります。

■テナント単位で電力・ガス使用量を表示したい

iTM本体で按分を行う場合、電力・ガス使用量は空調機単位またはエリア単位で表示されます。

テナント単位で電力・ガス量を表示したい場合は、料金計算シートを利用してください。

■電力・ガス使用量を料金に換算したい

iTM本体では、換算することができません。

電力・ガス使用量を料金に換算したい場合は、料金計算シートを利用してください。

■按分結果を印刷したい

iTM本体には、印刷機能がありません。

按分結果を印刷したい場合は、料金計算シートを利用して、お手元のパソコンおよびプリンタを使用してください。

■蓄熱契約電力量・夜間割引時間帯について

- 契約電力量・夜間割引時間帯は、蓄熱型の空調機が接続されている場合、電力会社との契約により毎月決められるものです。

  契約電力量・夜間割引時間帯を設定する場合は、契約内容にしたがってください。

■除外時間帯・特別に按分する日の設定について

- 除外時間帯・特別に按分する日の設定は、通常型の空調機に対してのみ有効です。
  この設定を行った場合でも、蓄熱型の空調機は終日料金按分計算を行います。
  また、設定は1パターンのみで、エリアごとに異なる設定をすることはできません。

■割り振れない総電力量について

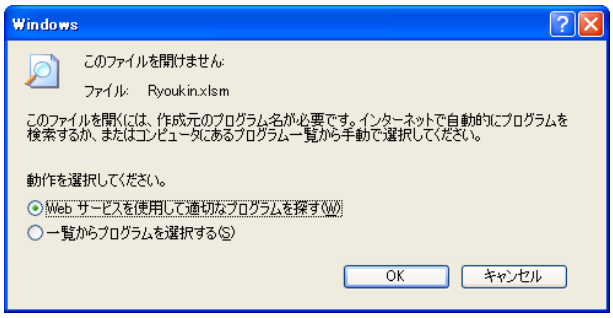
- 蓄熱運転時の料金計算は、蓄熱に要した電力量を、通常の空調運転に消費した電力量の比率で按分したものです。
  指定した期間、通常の空調運転に消費した電力量がない場合に表示します。

<料金計算シートについて>

(Excel 2007以前のバージョン使用時)

■料金計算シートが起動できない

- 以下のメッセージが表示され、料金計算シートが起動できない場合は、Excelのバージョンが2010または2013ではありません。
  Excel 2010または2013で起動してください。



■料金計算シート(Ryoukin.xlsm、RyoukinIce.xlsm)起動時に、ポップアップが表示されて操作ができない

- 「セキュリティの警告」のポップアップにある、「コンテンツの有効化」ボタンをクリックしてください。コンテンツを有効にしなかった場合、料金計算シートを使用することはできません。

■エリア設定・集計期間・空調機定格容量・電力ガス使用量のCSVファイルが読み込めない

- 表示言語が「日本語」ではない
  iTMで表示言語設定を「日本語」に設定し、USBメモリに保存したCSVファイルを読み込んでください。
- Ve-upコントローラでUSBメモリに保存したCSVファイルを読み込んだ場合
  iTMからUSBメモリに保存したCSVファイルを読み込んでください。

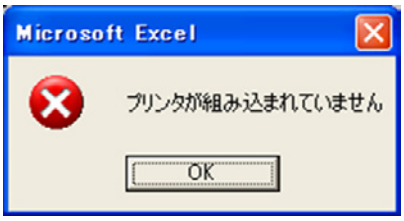
■入力した料金設定と、合計金額の計算が合わない

- 料金設定の入力値が範囲外です。範囲内の数値を入力してください。

  金額（テナント）　：0～999,999,999円
  金額（空調機１台）：0～　9,999,999円
  金額（基本料金）　：0～　9,999,999円
  金額（単価設定）　：0～　9,999,999円

■集計の各ボタンをクリックしても、集計画面（印刷プレビュー画面）が表示できない

- プリンタが設定されていません。パソコンのプリンタ設定をしてください。



■各集計ができないなど、料金計算シートが正常に動作しない

- 料金計算シートが正常に動作しなくなった場合は、メニューシートの**全データ初期化**ボタンをクリックしてください。

  ※この場合、設定した内容はすべて消去されますのでテナント名など、すべて再設定が必要です。それでも正常にうごかない場合は、再度iTMから按分結果と料金計算シートをUSBメモリに保存し、使用してください。

■エリア登録/テナント登録を変更する場合

- 月なかばで、間仕切りが変更になるなどして、エリア登録またはテナント登録を変更する場合は、変更を行う前日までの按分結果をいったん保存しておいてください。

  「期間指定」により任意の期間を指定して保存ができます。

  変更を行った月は、変更前後2回に分けて保存してください。

■料金計算シートで夜間電力使用量、ガス使用量が表示されない

- 料金計算シートの使用が間違っています。

  蓄熱型は蓄熱料金計算シートを、GHP型は電力ガス料金計算シートを使用してください。

  按分の種類にあわない料金計算シートを使用した場合、正しく料金換算できません。

<CSV出力ツールについて>

■CSV出力ツール起動時、エラーメッセージが表示される

- データ不正メッセージが表示された場合、下記の原因があります。

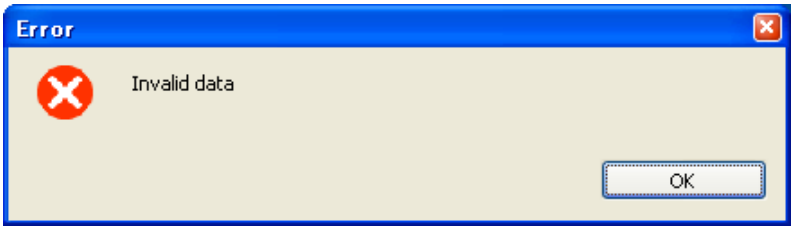
①DBデータとソフトバージョンが不一致

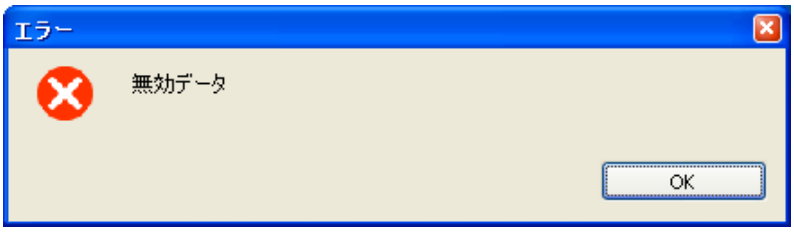
現在ご使用のiTMからデータをUSBメモリに保存し、CSV出力ツールを起動してください。

②DBファイルが壊れている、または、ファイル名変更などのファイル不正

再度iTMからデータをUSBメモリに保存し、CSV出力ツールを起動してください。

データ不正　メッセージ





- ファイル出力失敗メッセージが表示された場合、下記の原因があります。

①空き容量の少ないUSBメモリを使用

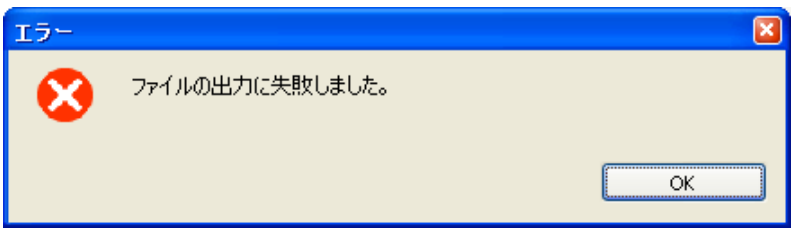
出力データをフォルダごとパソコンにコピーして、CSV出力ツールを起動してください。

または、空き容量の大きなUSBメモリを使用してください。

②フォルダの書き込み禁止

フォルダを書き込み可能にして、CSV出力ツールを起動してください。

ファイル出力失敗　メッセージ



<デマンド機能について>

■デマンド制御を行っているが、空調機に対する制御が行われない場合は以下のことが考えられます。

- 制御グループの登録および遮断レベルごとの制御の設定が行われていない。
- 遮断制御（室内機の設定温度シフト制御・室外機の能力制御・発停制御）が有効になっていない。
- 電力パルスモード時、電力量計からの電力デマンドパルス信号がPi管理点に入力されていない。（関西電力の電力供給地域では、時限パルス信号がDi管理点に入力されているか）
- デマコン連動モード時、デマンドコントローラから遮断信号がiTMに接続されているか。

■制御グループ、各遮断レベルでの空調機への制御を変更したいが、変更するタイミングはいつでもよいのか。

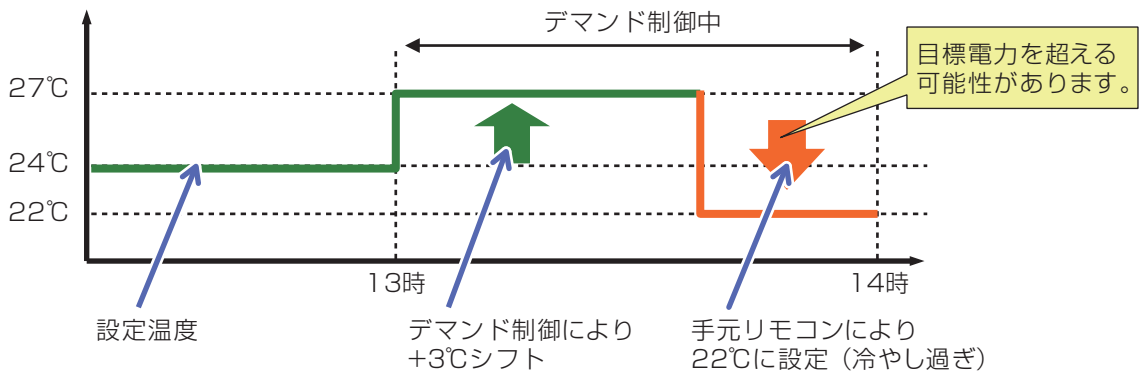
- デマンド制御を止めても影響の少ない時間帯(早朝や深夜)に行ってください。
  制御グループ、各遮断レベルでの空調機の制御を変更するには、制御状態（設定温度シフト制御・室外機の能力制御・発停制御）を無効にする必要があります。
  無効の間は、デマンド制御が実行されません。

■iTMの時刻がずれてきたので修正したいが、いつ修正するのが良いか。

- デマンド制御では時刻同期方式/外部同期方式いずれの場合でも、iTMの時計を基準にして制御を行います。
  したがって、時計は受電設備内の電力量計の時計と定期的に同期を取ってください。
  月に一度時計合わせすることをおすすめします。
  ただし、デマンド制御を行っている状態で時計を修正すると、修正した時限およびその次の時限の制御が正しく行われません。
  時刻の設定は、空調機の消費電力が少ない時間帯(早朝か深夜)にデマンド制御を止めて（無効にして）設定することをおすすめします。

■室内機の設定温度シフト制御を行っているが、設定温度が変わってしまう。

- 手元リモコンからの設定温度の変更をしていないかどうか確認してください。
  デマンド制御を行っている最中でも、手元リモコンからの設定温度の変更を受け付けます。
  より効果的にデマンド制御を行いたいときは、手元リモコンの操作を禁止してください。
  （2-3 手元リモコン操作の許可、禁止の設定参照）



■デマンド制御と按分機能を併用することはできるか。

- デマンド制御と按分機能を併用することができます。
  しかし、デマコン連動モードの場合は、Di/Piポートを3ポート使用するため、iTMプラスアダプターの増設が必要です。
  電力パルスモードで使用する場合は、iTMだけで使用することができます。

■iTMの制御対象にベンティエールがあるが、デマンド制御はできるか。

- 発停制御で停止させることができます。ただし、自動復帰はしません。

■目標電力を変更したいが、変更するタイミングはいつでもよいのか。（電力パルスモード時）

- デマンド制御を行っている状態で、目標電力の変更を行うことができます。
  ただし、変更が反映されるのはデマンド制御の次回の時限（最大30分後）からになります。
  例）10時12分に目標電力を変更すると、10時30分以降の制御から有効になります。

■複数のiTMから同じ制御対象に、デマンド制御できないか。

- 複数のiTMからデマンド制御を行うと、効果的な制御ができません。
  1台でのデマンド制御を守ってください。

■ほかの設備を接点出力で止めることはできないか。

- デマンド制御は、空調機以外に接点制御のための商品: D3Dio・ExternalDio・BACnetDio経由で発停制御ができます。ただし、自動復帰はしません。
  ※D3Dio・ExternalDio・BACnetDioの設定で後押し優先にしないようにご注意ください。

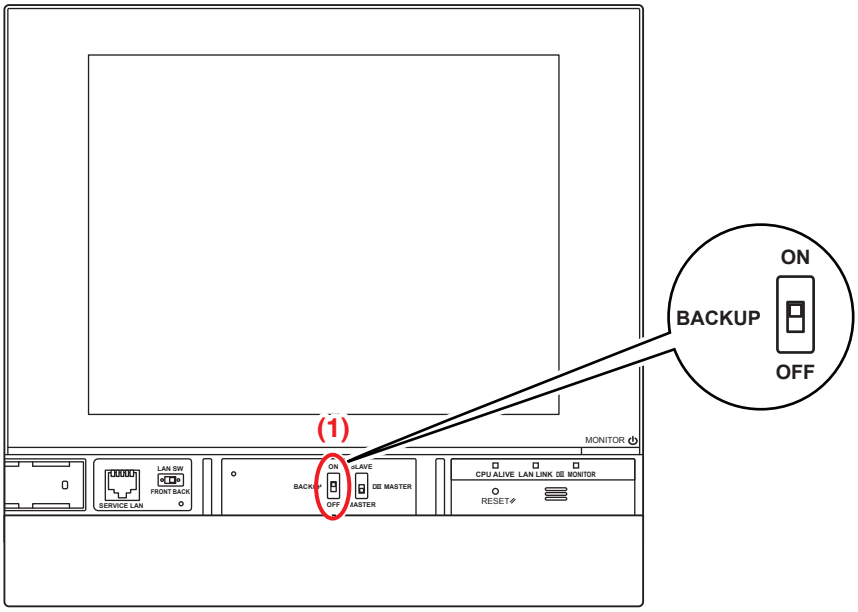
■同一システムに室外機能力制御と設定温度シフト制御を同時に使用することはできるか。

- 可能です。ただし、同一の遮断レベルで
  ○室外機能力制御　　：0%
  ○設定温度シフト制御：3℃シフト
  のように設定しても、室外機はサーモOFFの状態になりますので、設定温度シフト制御を行うメリットがなくなります。
  デマンド制御設定を設計する場合は、各制御との関連性も考慮したうえで、設計する必要があります。

14-2 内蔵バッテリーON/OFFについて

iTMは停電中や電源OFFの間も時計を稼動させるために内蔵バッテリーを装備しています。

内蔵バッテリーのON/OFFは、**(1) BACKUP用電源**スイッチで設定します。BACKUP用電源スイッチは、本体の前面スライドカバーをずらして、ねじ止めされたカバーを外したところにあります（下図参照）。通常はONに設定します。



電源を長期間しゃ断する場合

長期間（６ヵ月以上）iTMの電源をしゃ断したままにする場合、BACKUP用電源スイッチをOFFにしてください。

（このスイッチをOFFにしても、エリア・スケジュールなどの設定内容は消えません。）

- iTMに長期間電源が供給されないと、バッテリーが放電してしまうおそれがあります。
- 再度、iTMをご使用になる場合は、BACKUP用電源スイッチをONにしてください。

⚠ 注意

- ほかのスイッチには手を触れないでください。
- スイッチを無理な力で切り換えないでください。部品の破損・故障の原因になります。
- iTMは静電気に敏感な部品を使用しています。部品が静電破壊するおそれがありますので、操作される前に体にたまった静電気を除去してください。
  静電気はアースされた金属部（制御盤など）に触れることにより除去できます。

14-3 異常発生お知らせ機能について

異常が発生した場合、標準画面の一括監視の異常発生アイコンで、異常発生管理点の確認ができます。

1. 異常を検知した場合、 （赤） （黄）で点滅し、吹出し注意文でお知らせします。
   設定されていればブザーが鳴ります。

   （赤） **点滅表示：システム異常**
   文面：システム異常が発生しています。このアイコンをタッチして確認し、復旧してください。

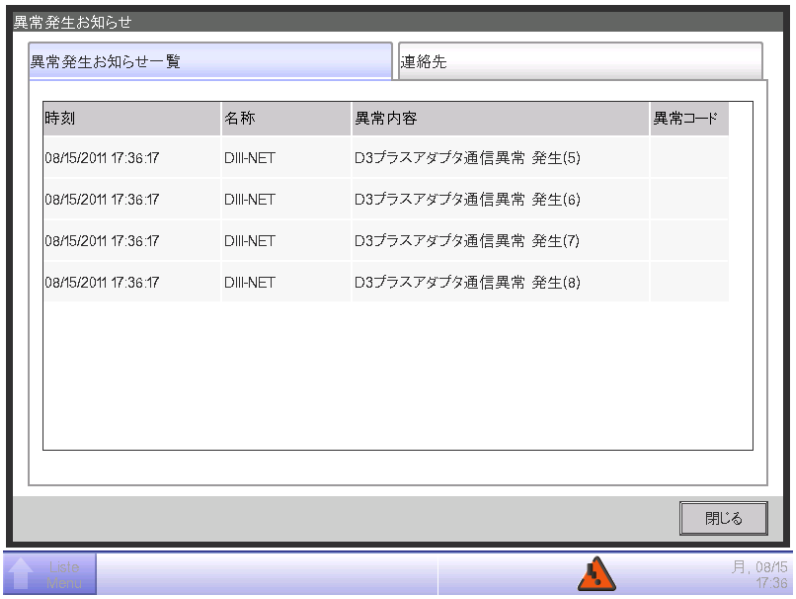
   （黄） **点滅表示：機器異常・アナログ異常**
   文面：異常が発生しています。このアイコンをタッチして確認してください。

   （青） **点灯表示：通信異常**　※ブザーなしで文面も表示されません。

   アイコンをタッチすると異常発生お知らせダイアログを表示します。

NOTE

ユーザ権限が制限されている場合（6-3 パスワード設定参照）、アイコンをタッチするとパスワード入力ダイアログを表示します。正しいパスワードを入力すると、異常発生お知らせダイアログが表示します。



2. 異常発生お知らせ画面の**異常発生お知らせ一覧**タブに異常一覧が表示されます。
一覧内容は以下のとおりです。

時刻：異常発生時刻

名称：異常が発生した管理点の名称/システム

異常内容：異常の内容

異常コード：異常コードNo.

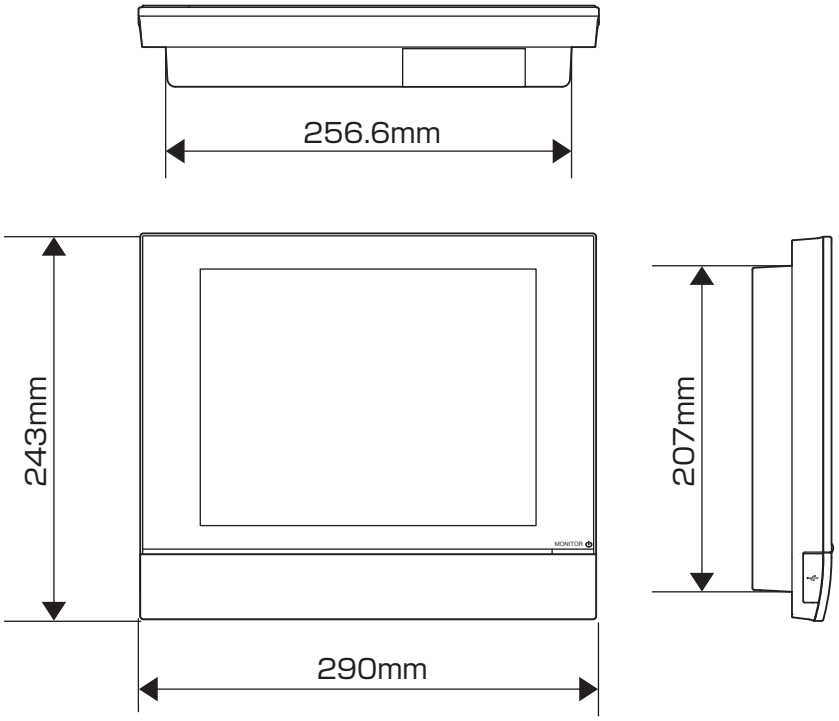
連絡先タブの連絡先画面に登録されている販売店にご連絡ください。

NOTE

- 一度異常一覧に表示した機器異常/アナログ異常/料金按分（オプション機能）（10- 1 料金按分参照）のシステム異常は、次回からは表示されません。

15. 仕様について

15-1 iTMハードウェア仕様表



電源	AC100～240V 50/60Hz
消費電力	23W
緊急停止入力	常時a接点 接点電流約10mA
外形	W290×H243×D50
重量	2.4kg
使用可能温度	0～40℃
使用可能湿度	85%以下

15-2 周辺機器仕様表

詳細については、周辺機器仕様表（CB13A005）をご覧ください。

15-3 著作権・商標について

- SDHC Logo is a trademark of SD-3C, LLC.

- 当製品には、イーソル株式会社のリアルタイムOS「eT-Kernel」、ネットワークプロトコル「PrCONNECT/Pro」、ファイルシステム「PrFILE2」、USBスタック「PrUSB」が搭載されています。
- Fugue © 1999-2011 Kyoto Software Research, Inc. All rights reserved.
- （株）リコーがデザイン制作したTrueTypeフォントを使用しています。
- 日本語変換はオムロンソフトウェア(株)のモバイルWnnを使用しています。
  “Mini Wnn” (c) OMRON SOFTWARE Co., Ltd. 1999-2003 All Rights Reserved.